

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、通常の診療の過程で得られる診療情報および生体情報を利用します。新たな検査や治療、侵襲的な手技は行いません。

研究の内容を詳しく知りたい方や、またはご自身の診療情報を本研究に利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術における術中 HFVI と術後尿失禁との関連に関する研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 麻酔科 (職名) 手術部 (氏名) 阿部尚紀
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2032年 3月 1日
対象となる方	2026年3月から2030年3月までの間に、愛媛大学医学部附属病院においてロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術を受けられた、または受けられる予定の患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、身長、体重、既往歴、合併症、術前検査結果(血液検査・尿検査等)、手術時間、出血量、術者、神経温存の有無、麻酔方法、使用薬剤、術中循環動態、術中に計測される High-Frequency Variability Index (HFVI) などの生体情報、術後疼痛評価 (NRS)、術後の尿失禁に関する評価 (パッド使用枚数、質問票等)
研究の概要 (目的・方法)	ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術後の尿失禁は、患者さんの生活の質に大きな影響を与える重要な問題です。一方で、術中に生じる生体反応と術後尿失禁との関係については、十分に明らかになっていません。本研究では、手術中に通常的心電図モニタから得られる情報を基に算出される自律神経指標 (HFVI) に着目し、HFVI と術後尿失禁の回復との関連を調べます。通常診療で

	得られる情報のみを用いて解析を行い、術後尿失禁の発生機序の解明や、将来的な医療の質向上に役立てることを目的としています。
個人情報の保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。提供先が外国の研究機関や外国の企業の場合には、その国での個人情報の保護規定が定められていることを確認した上で、個人を特定できる情報を含まない形で提供します。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 麻酔科 阿部尚紀 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5383